



オフラインで使用する Geo マップ リソース ファイルのインストール

ネットワークは、トポロジマップまたは地理的マップ（Geo マップ）で視覚化できます。Geo マップを使用すると、ネットワークデバイスを世界地図上に配置し、それらの地理的コンテキスト内でモニターすることができます。

Geo マップを GUI に表示するために、クライアントからの直接インターネット接続またはプロキシとして機能する EPN Manager サーバー経由で、マップ タイルを特定の Mapbox URL から取得するようにシステムがデフォルトで設定されています。インターネットに接続していない場合は、マップ リソースをローカルにインストールし、ローカル マップ リソースを使用するように指定する必要があります（オフライン使用など）。

次のトピックでは、HA 環境と非 HA 環境の両方で、オフラインで使用する Geo マップをダウンロードしてインストールする方法について説明します。



(注) Geo マップの圧縮ファイルは非常に大きいファイルです。ファイルをリモート リポジトリに保存することを推奨します。

- [Geo マップ リソース ファイルのインストール（標準展開）](#)（1 ページ）
- [Geo マップ リソース ファイルのインストール（高可用性展開）](#)（4 ページ）
- [Cisco EPN Manager へのアップグレード後の Geo マップ リソース ファイルの更新](#)（5 ページ）

Geo マップ リソース ファイルのインストール（標準展開）

標準環境（高可用性なし）でオフラインで使用する Geo マップ リソース ファイルをインストールするには、次の手順が必要です。

1. [Cisco EPN Manager サーバーへの Geo マップ リソース ファイルの配置](#)。

2. Cisco EPN Manager サーバーへの Geo マップ リソース ファイルのインストール。
3. インストールしたマップ リソースを使用する Cisco EPN Manager サーバーの設定。
4. Geo マップファイルが正常にインストールされたことを確認する。

Cisco EPN Manager サーバーへの Geo マップ リソース ファイルの配置

はじめる前に

- (Geo マップ ファイルが非常に大きいため) リモート リポジトリを使用する場合は、リモート リポジトリが設定されていることを確認してください。詳細については、『Cisco Evolved Programmable Network Manager ユーザーおよび管理者ガイド』のリモート FTP バックアップ リポジトリの使用に関するトピックを参照してください。
- SCP がクライアントマシンで有効であり、必要なポートが開いていることを確認します。

この手順では、Cisco EPN Manager サーバー上のデフォルトのローカル リポジトリに Geo マップ リソースをダウンロードしてコピーする方法を示します。

ステップ 1 Geo マップの圧縮ファイルをクライアント マシンにダウンロードします。

1. [cisco.com](https://www.cisco.com) のソフトウェア ダウンロード サイトに移動します。
2. [すべてのリリース (All Releases)] > [7.1] を選択して、ファイルに移動します。
3. ダウンロードするマップを特定し、[ダウンロード (Download)] をクリックします。
4. クライアント マシンにファイルを保存する手順に従います。

ステップ 2 ローカルマシンから Cisco EPN Manager サーバーのデフォルト ローカル リポジトリ (/localdisk/defaultRepo) に Geo マップの圧縮ファイルをコピーします。

次の例では、ロシアの Geo マップ ファイルは、クライアント マシンの /temp ディレクトリにダウンロードされました。ユーザーは、Linux CLI 管理者ユーザーとして Cisco EPN Manager サーバーにログインし、クライアント マシンからファイルを取得し、サーバー上の /localdisk/defaultRepo にファイルをコピーしています。

```
scp joesmith@123.456.789.101:/temp/Russia_GeoMap_CEPNM_7_1_0-bundle.tar.gz/localdisk/defaultRepo
```

Cisco EPN Manager サーバーへの Geo マップ リソース ファイルのインストール

はじめる前に

インストールプロセスでは、Geo マップ ファイルが抽出され、/opt/CSColumos/resources/offline_geo にインストールされます。ストレージの制約を解消するには、Linux CLI 管理者ユーザーとしてログインした後で、/etc/fstab ファイルを編集して、追加のストレージをディレクトリにマウントすることを検討してください。高可用性があり、

追加のストレージをマウントする必要がある場合は、必ずプライマリ サーバーとセカンダリサーバーの両方で /etc/fstab ファイルを編集してください。

ステップ 1 Cisco EPN Manager サーバーとの SSH セッションを開始し、Cisco EPN Manager CLI 管理者ユーザーとしてログインします。

ステップ 2 /localdisk/defaultRepo にある Geo マップ リソース ファイルをインストールします。

例 :

```
application install filename defaultRepo
```

filename は、/localdisk/defaultRepo にある Geo マップ リソース ファイルです (これは「Cisco EPN Manager サーバーへの Geo マップ リソース ファイルの配置」でコピーしたファイルです)。次に例を示します。

例 :

```
application install Russia_GeoMap_CEPNM_7_1_0-bundle.tar.gz defaultRepo
```

```
Save the current ADE-OS running configuration? (yes/no) [yes] ? yes
```

```
Please ensure you have a backup of the system before proceeding.Proceed with the application install ? (yes/no) [yes] ? yes
```

マップ リソースのサイズに応じて、インストールには数分かかります。

インストールしたマップ リソース を使用する Cisco EPN Manager サーバー の設定

ステップ 1 [管理 (Administration)] > [設定 (Settings)] > [システム設定 (System Settings)] を選択して、[マップ (Maps)] > [ネットワーク トポロジ (Network Topology)] を選択します。

ステップ 2 [Geo マップの有効化 (Enable Geo Maps)] をオンにします。

ステップ 3 [マップ プロバイダー (Map Provider)] ドロップダウンリストから [インストール済みマップ リソース (Installed Map Resources)] を選択します。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

変更を適用するために Cisco EPN Manager サーバーを再起動する必要はありません。通知メッセージによって、システムがインストールされたマップ リソースを使用して動作するようになったことが通知されます。

Geo マップファイルが正常にインストールされたことを確認する

Geo マップファイルをインストールし、それらの Geo マップファイルを使用するようにシステムを設定した後、それらが正常にインストールされ、GUI に表示されていることを確認します。

マップが GUI に表示されていることを確認します。

1. Cisco EPN Manager Web GUI に管理者権限を持つユーザーとしてログインします。
 2. 左側のサイドバーのメニューから、[マップ (Maps)] > [トポロジマップ (Topology Maps)] > [ネットワーク トポロジ (Network Topology)] を選択します。
 3. Geo マップを表示するトポロジウィンドウの右上にある [地理的マップ (Geographical Map)] アイコンをクリックします。
 4. 目的のマップが表示されることを確認します。
-

Geo マップ リソース ファイルのインストール (高可用性展開)

高可用性環境では、プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーの両方にオフラインマップ リソースをインストールする必要があります。



- (注) プライマリ サーバーで Cisco EPN Manager の再インストールが必要となる障害がプライマリ サーバーで発生した場合は、プライマリ サーバーに Geo マップ リソースを再インストールしてサーバーを再起動する必要があります。
-

高可用性展開に Geo マップ ファイルをインストールするには、次のワークフローに従います。

- ステップ 1 「Cisco EPN Manager サーバーへの Geo マップ リソース ファイルの配置」に説明されているように、プライマリ サーバーとセカンダリ サーバーに Geo マップ ファイルを配置します。
 - ステップ 2 「Cisco EPN Manager サーバーへの Geo マップ リソース ファイルのインストール」に記載されているように、Geo マップ ファイルをプライマリ サーバーにインストールします。
 - ステップ 3 「Cisco EPN Manager サーバーへの Geo マップ リソース ファイルのインストール」に記載されているように、Geo マップ ファイルをセカンダリ サーバーにインストールします。
 - ステップ 4 「インストールしたマップ リソースを使用する Cisco EPN Manager サーバーの設定」に記載されているように、インストールされたマップ ファイルを使用できるようにします。
 - ステップ 5 「Geo マップ ファイルが正常にインストールされたことを確認する」に記載されているように、プライマリ サーバーで Geo マップ が表示されていることを確認します。
-

Cisco EPN Manager へのアップグレード後の Geo マップ リソース ファイルの更新

ジオマップファイルは、アップグレード後に再インストールする必要があります。

-
- ステップ 1 必要な Cisco EPN Manager Geo マップ ファイルをダウンロードし、再インストールします。
 - ステップ 2 サーバーを停止し、再起動します。
 - ステップ 3 キャッシュをクリアします。
 - ステップ 4 Geo マップ ファイルがインストールされていることを確認します。「[Geo マップファイルが正常にインストールされたことを確認する](#)」を参照してください。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。